



和束の秋

- ・和束中学校合唱コンクール
(chanobaにて)
- ・和束天満宮秋祭り
- ・ゆぶねMTBランド大感謝祭

令和7年9月定例会

決 算 令和6年度決算概要・主な質疑 >> P.2

決まったこと 補正予算他 >> P.7

一般 質 問 5人が町政を問う >> P.8

委員会報告 総務厚生・産業他 >> P.14

私の推し 長福寺・円福寺の住職 大野 妙瑞さん >> P.16

トンネル開通により、観光需要高まる

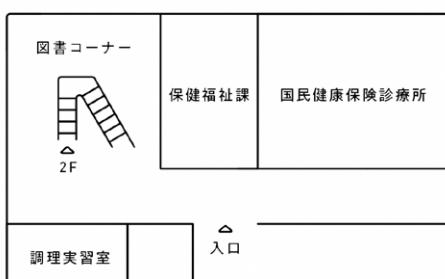
ため地域ポイント制度での給付事業始まる

○総合保健福祉施設整備事業

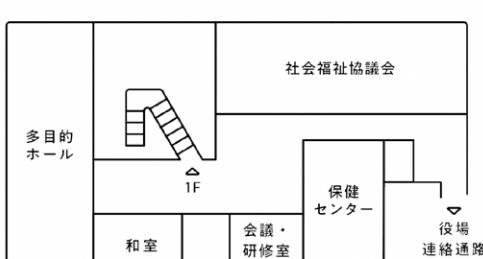
12億1476万2901円

9月定例議会は9月8日から25日までの会期で開催されました。令和6年度決算認定、令和7年度補正予算、2件の条例改正、湯船辺地に係る「総合整備計画」の変更など町長提案の議案を審議し可決。決算認定は17日・18日に特別委員会で審議。一般会計及び特別会計、公営企業会計の決算を原案通り可決し認定しました。

1階マップ



2階マップ



健康福祉交流センターマップ

○石寺景観展望施設整備事業

2365万4400円



石寺景観展望施設

観光シーズンや休日等の観光来訪者の路上駐車等による交通安全対策及び観光振興を目的として石寺景観展望施設が完成。

令和6年度 決算

茶畠景観資産の文化遺産 物価高騰による生活支援の

○物価高騰緊急支援給付事業

5257万1812円



茶源郷ポイントカード

物価高騰支援として、特に家計への影響が大きい低所得者及び低所得者の子育て世帯並びに定額減税補足給付として実施。

○茶原郷乗合交通生活お届け事業

2856万2371円



茶源郷WazCar

奈良交通バスの利用促進と地域の交通空白地の解消を図るため、令和6年6月から茶源郷和束交通運営協議会による自家用有償旅客運送事業を開始。

決算特別委員会 Q&A

簡水淨化槽事業等

Q 簡易水道事業基本計画策定業務の内容は。

A 令和6年から7年度で「基本計画」策定、令和8年・9年で実施設計を計画している。

A 今後どのように活用されようとしているか。

A 老人福祉ということを中心に活用したい。

Q 海洋センターの使用状況は。

A 令和6年度の使用状況は、町内2140名の方、町外の方1368名の方がスポーツ活動で利用。プールは小学校活用。

Q 第3期和束町子ども子育て支援事業計画において子どもの意見表明権の保障は計画策定に反映されたのか。

A 認定こども園を進めている。その事により、子どもの権利条約等を目指し整備したい。

A 色々啓発を行い、できるだけ増やせるようになります。

Q 縁側カフェプロジェクト協力者謝礼の対象者は。

A 7・8軒あった。トイレを観光客に貸したりとの事業です。

A 和束小学校に、マンホールトイレを10基整備、備蓄では簡易トイレ約4300回分を確保。

Q 合併処理浄化槽設置検に必要な費用のため補助増額の見直しは。A 公的な支援が出来るよう考えているが、検討。

A 浄化槽271基で申請件数52件となつている。

Q 合併処理槽の法定点検に必要な費用のため補助増額の見直しは。

A 公的な支援が出来るよう考えているが、検討。

Q 施設利用において住民の方への利用減免規定は。A 減免については検討していないではなく、どうするかの議論を行つており、使用料は近隣市町村の額で検討。

A 減免によるアンケートを行つたため子どもの意見が反映しにくい内容になつたと反省している。

Q 子ども・子育て支援事業計画での子ども自身の意見反映は。A 保護者によるアンケートを行つたため子どもの意見が反映しにくい内容になつたと反省している。

Q 災害対策がどのように取り組まれたか。A 備蓄品切れ部分の増量購入、地域防災計画の見直し。

Q 住宅の耐震化の取り組みはどのように進んだのか。A 耐震化診断は2件申請で、2件とも耐震性能を満たしていない、改修されてない。

Q 浸水想定表示は。A ハザードマップに改新。重要な公共施設には、看板設置を行う予定。

Q 森を守るではなく、森を使う政策は。A 森林組合と調整を行つて、森林活用は今後に検討していく。

Q 私有地からの樹木が町道へはみ出ている状況に対しての対応は。A 地権者と相談しながら応急対応したい。

Q 総合保健福祉施設において、施設と駐車場同時に完成する予定ではなかつたのか。A 駐車場のスペースが建築物の一部に隣接していたり農地の一部を借り入れするための必要時間があつたこと

Q 学童の利用料・高校生の通学補助等の経済的負担の軽減は。A 子育て支援では、かなり早い時期から色々な施策を展開してきており、自己財源で何が出来るかというのは難しい。

Q 水の確保は。A 京都府では3日分の備蓄は確保するよう指導されており、6年度において約1680リットル分新たに購入。

Q 観光客用のトイレスペースを増やせる政策は。A 観光客用のトイレの数を増やせるための必要時間があつたこと

Q 老人福祉センターは今後どのように活用されようとしているか。

A 今後どのように活用されようとしているか。

Q 観光の取り組み数を増やせる政策は。

反対討論 (岡本正意委員)

- ①異常な物価高騰が深刻さを増し、実質賃金も年金も増えない一方で、医療や介護などの負担ばかりが重くなる中、住民の福祉と暮らしを守る地方自治体の役割を發揮し、住民生活への支援に全力を擧げる予算の執行を強く求めたが、残念ながら町の取り組みは国の財源待ちで、町独自の姿勢も取り組みも極めて不十分。
- ②地方自治体が行う効果的な物価高騰対策は公共料金の軽減であり、国が電気やガソリン代、府がプロパンガスへの補助を実施したように、町の判断で実施できる最も効果的な施策は、上下水道料金の基本料金減免。行うチャンスがありながら採用しなかったのは判断の誤り。
- ③総合保健福祉施設の整備、防災面では、もともと現地は浸水と土砂災害の危険性が高く、防災上の評価が低い場所だったが、科学的根拠も示されないまま評価が上方修正された不可解な経過があった。
- ④駐車場については、本来、施設本体の整備と一体のものであり、いまだに整備を終えていないのは異常と思われる。駐車場が間に合わないことを分かっていながら、社協などの公用車の駐車スペースの確保も不十分なまま業務を開始したことは、極めて無責任。
- ⑤施設利用料の減免規定を整備しなかった点。施設オープン後の住民の利用を妨げることに繋がっており、早急に見直し、減免規定を整備することは不可欠と考える。
- ⑥定住促進では、住宅の整備、確保の重要性がますます高まると考えます。移住者のみでなく、和束で生まれ育った若い世代の受皿としても、一定規模の公的住宅の整備や公的な家賃補助と合わせた民間賃貸住宅の誘致などを早急に具体化していただきたい。

賛成討論 (吉田哲也委員)

- ①物価高騰対策として、低所得世帯への給付金施策を実施されるとともに、町内全世帯を対象とした地域ポイント給付事業や子育て世帯への給付金事業を実施されるなど、限られた財源のなかで、物価高騰の影響を受ける住民や事業者を支える施策が着実に展開された。
- ②地域医療の確保や保健福祉の充実、交流促進など、多くの複合的な機能を備えた「健康福祉交流センター」が建築されるとともに、オープンに向けた備品や医療機器の整備なども進められた。
- ③大規模事業により借り入れた町債の償還を見据え、令和3年度から大幅に増加した普通交付税等を可能な限り減債基金に積立てられたことや、一般財源を確保するため、ふるさと納税受入額の増加を目指す取組をすすめるなど、将来にわたり安定的な財政運営を継続できるよう努められている。

その他、石寺橋架替事業をはじめとする大規模事業が引き続き実施されているが、中長期的な財政展望を見据えたうえで、着実に事業を進められるとともに、併せて、足元の住民の暮らしを守る取り組みについても、引き続き実施され、第5次総合計画に掲げるまちづくりの実現に向けたさまざまな施策を推進されることを期待する。

※討論とは… 現に議題となっている事件に対して、自己の賛成又は反対の意見を表明すること。
自己の意見に反対する者及び賛否の意思を決めていない者を自己の意見に賛同させるために行う。

決算特別委員会では、令和6年度の一般会計及び各特別会計（湯船財産区特別会計、介護保険特別会計は除く。）について「反対」「賛成」それぞれの立場から討論が行われました。
ここでは、一般会計決算への賛成討論と反対討論を掲載します。

各議員の賛否

令和7年第3回定例会（9月）に、提出された議案のうち賛否がわかったもの

会議区分	議案名	審議結果	議員名									
			岡田 勇	宗 健司	山本 達也	高山 豊彦	村山 一彦	井上 武津男	岡本 正意	吉田 哲也	小西 啓	畠 武志
委	令和6年度和束町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○
委	令和6年度和束町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○
委	令和6年度和束町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○
委	令和6年度和束町簡易水道事業会計決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○
委	令和6年度和束町特定環境保全公共下水道事業会計決算認定について	認定	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○
本	専決処分の承認を求めることについて 令和7年度和束町一般会計補正予算(第2号専決)	承認	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—
	令和7年度和束町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席 —は採決に加わらない
畠 武志議長は本会議の採決に、岡田 勇決算特別委員長は決算認定の採決に加わりません。

条例改正など

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

部分休業について、現行の1日につき2時間を超えない範囲の形態に加え、1年につき条例で定める時間（10日相当）を超えない範囲内の形態を設けることとし、職員はいずれかの形態を選択可能とする。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置を講じなければならない。

湯船辺地に係る総合整備計画の変更

計画年次を1年間延長。橋りょうに係る事業費やその財源内訳等の増額。

令和7年度補正予算は、一般会計・特別会計合わせて1億2432万円。公営企業会計（簡易水道・下水道）は収益的支出58万8000円、資本的支出150万円。

○一般会計 おもな補正内容

・健康福祉交流センター南側公園隣接土地災害復旧工事	4100万円
・物価高騰緊急支援給付（不足給付）事業	908万円
・体験交流センター管理諸経費事業	350万円
・消防施設整備事業費（防水水槽測量設計）	1425万円
・野生鳥獣被害総合対策事業費	322万3000円

○簡易水道事業補正予算

・配水管布設替設計委託	150万円
-------------	-------

○国民健康補正予算

・医薬品衛生諸経費	412万円
-----------	-------

○後期高齢者医療補正予算

・後期高齢者医療広域連合負担会	152万4000円
-----------------	-----------

○介護保険補正予算

・居宅介護・施設介護サービス給付事業	3630万円
--------------------	--------



主な質疑

健康福祉交流センター裏の擁壁崩壊等の概要は。

健康福祉交流センター南側の公園施設を整備中灾害級の雨が降り、隣接する擁壁が崩落して塀が破壊した。

検討したが、今回のところは見送ったというのが現状。当初からは商工会と連携して、プレミアム商品券を9月に発行することことができた。

会計年度職員のほうの報酬を上げた。
物価高騰緊急支援給付金事業、9月補正での町独自の対策は。

過去の引継ぎという形で、ほぼゼロベーススタート、現在進めているが、規約等の整理にまだ一定の時間、会員の募集にも一定の時間が要するので、おおむね1年かかるという事で、補助金の組替え、

シルバー人材センター補助金△219万8000円、減額の理由は。

K Aホールディングス、KAホールディングス、10万円がネクスト・ワンからの寄附金。

ふるさと納税寄附金で310万円。企業名は。

過去の引継ぎという形で、ほぼゼロベーススタート、現在進めているが、規約等の整理にまだ一定の時間、会員の募集にも一定の時間が要するので、おおむね1年かかるという事で、補助金の組替え、

有害鳥獣の対策、一定、金網、ワイヤーメッシュや電柵のための補助金。令和6年度または令和7年度も前半のほうで要望がなかつたので予算化していなかつたが、今般、団体の方から、事業を行いたいということで、その見積りを元に予算計上。

有害鳥獣の対策、一定、金網、ワイヤーメッシュや電柵のための補助金。令和6年度または令和7年度も前半のほうで要望がなかつたので予算化していなかつたが、今般、団体の方から、事業を行いたいということで、その見積りを元に予算計上。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

9月8日に行った一般質問には、5人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてただしました。各議員の質問項目を紹介します。

①村山 一彦 議員 (9ページ)

1. 鷺峰山トンネルについて	2. ごみ問題について
3. 窓口対応について	4. J 1 京都サンガF Cについて

②山本 達也 議員 (10ページ)

1. 和束町への観光客受け入れに際して茶畠観光のルールや制約等の条例を作るべきでは
2. 和束茶カフェ裏大駐車場の敷地内にトイレを設置するべき。利用客の利便性を上げる事も交流人口増加の要素となる
3. 子育て応援給付金を茶源郷ポイントで支給する意図は何か。子育てをするためにかかる経費負担を減らすための直接的支援になっているとは思えない。「移住して和束で子育てをしたい」というファミリーを呼び込むきっかけどころか、そのファミリーを遠ざける事になっていないか
4. 体験交流センター入口 上り坂下の道路補修を早急にするべき。利用者の間でも車の底面が擦る、来客も下に車を停めて歩かれているなど長年に渡り不便や不都合が生じている
5. 和束町健康福祉交流センターの今後の運用について、使われていないスペースをどう使うのか。設計の段階で有効活用の案は出なかったのか
6. 移住促進のなかで空家活用移住促進事業補助金について、和束町は全額補助額180万円該当地域であるにも関わらず、湯船と東和束地域のみが180万円、その他地域が90万円である。前期3月末には全額の区長と話ができ、今年7月頃には手続きが完了すると言う話であったがその後どうなっているのか

③宗 健司 議員 (11ページ)

1. 町道整備について	2. 公共事業における行政支援等について
3. 防災対策について	4. 和束町が後援・共催するイベントの考え方について

④高山 豊彦 議員 (12ページ)

1. 茶産業の発展とオープンエアミュージアム構想の取り組みについて	2. 道路整備計画について
3. 旧国保診療所施設の活用について	4. 行政のデジタル化の推進について

⑤岡本 正意 議員 (13ページ)

1. 「災害級」の酷暑・猛暑への対策強化を	2. 鳥獣被害対策について
3. 物価高騰対策の9月議会での具体化は	4. 高齢者の「聴こえ」への支援強化を

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度も質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録と和束町チャンネルでご確認ください。



鷺峰山トンネル内に常に水が出ている。

むらやま かずひこ
村山 一彦 議員

原因は。

町長

トンネル自体の異常や瑕疵ではなく結露によるもの。

問
城陽市は、この4月から要介護の高齢者や障害者を対象にした家庭ごみの戸別収集を始められたが、和束町の取組は。

答
環境衛生課長
平成21年から75歳以上の高齢者世帯や日常生活に介護を必要とする障害者世帯を対象として、毎週木曜日に訪問している。

問
鷺峰山トンネルの場合、5月下旬から12月初旬ごろまで結露が発生しやすいため、対策を検討してまいりたい。

答
環境衛生課長
持ち去り行為について、注意は出来ないか。

ごみ問題

答
町長
鷺峰山トンネルの場合、5月下旬から12月初旬ごろまで結露が発生しやすいため、対策を検討してまいりたい。

問
京都府山城南、山城北土木事務所に確認したところ、トンネル自体の異常や瑕疵ではなく、結露によるものと報告を受けている。

問
鷺峰山トンネル内に常に水が出ているが、原因はどこにあるのか。

答
町長
京都府山城南、山城北土木事務所に確認したところ、トンネル自体の異常や瑕疵ではなく、結露によるものと報告を受けている。

問
現在の利用者数はどれくらいなのか。

答
環境衛生課長
令和7年度で8人です。

問
ごみ出しの手順については、ホームページ、「れんけい」等で周知されているが、年1回ぐらい回覧板の利用を考えては。

答
環境衛生課長
粗大ごみの持ち去り行為は、ごみの散乱、不法投棄に繋がることから回覧板でも周知していきたい。

問
収集日の前日、または2日前に主要なごみ収集場所の巡回や持ち去り禁止の看板を設置するなど対応する。

答
環境衛生課長
必要に応じて職員により巡回や持ち去り禁止の看板を設置するなど対応する。

問
ごみ（粗大ごみ）を持ち去る悪質行為が見られるが、対策を講じているか。

答
環境衛生課長
必要に応じて職員により巡回や持ち去り禁止の看板を設置するなど対応する。

問
窓口対応について、苦情、提言があった場合、情報共有ができるのか。

答
理事兼総務課長
(1)情報共有については、重要な事案については各課長より事案事項を文書で町長まで報告している。また町全体で対応するような事案等については、管理職会議で報告し各課員共有している。(2)重要事項については、文書で町長まで報告しているので記録として残っている。

問
窓口対応について、苦情、提言があった場合、情報共有ができるのか。

答
理事兼総務課長
(1)情報共有については、重要な事案については各課長より事案事項を文書で町長まで報告している。また町全体で対応するような事案等については、管理職会議で報告し各課員共有している。(2)重要事項については、文書で町長まで報告しているので記録として残っている。

問
和束町がサッカー京都サンガFCのホームタウンになつたと聞いたが加入時期はいつか。

答
まちづくり応援課長
令和6年12月にホームタウン協定書を締結した。

問
今年7月に住民から町道脇の草が道に大きく出ていて、草刈りが済んだのは2週間後、時間がかかりすぎでは。

答
まちづくり応援課長
この10月4日に和束町の小学生が、サンガスタジアムに招待される。そして大型ビジョンで、和束町のPR動画を放送、併せて和束町のPRブースを出展させていただく。

問
和束町がサッカー京都サンガFCのホームタウンになつたと聞いたが加入時期はいつか。

答
まちづくり応援課長
令和6年12月にホームタウン協定書を締結した。



亀岡サンガスタジアム



和束町への観光客受け入れに際して茶畠観光のルールや制約等の条例を作るべきでは

やまもと たつや
山本 達也 議員

既存法律規定で条例に罰則規定は盛り込めないが関連団体を通じて周知を検討

町長

問 和束町への観光客受け入れに際して茶畠観光のルールや制約等の条例を作るべきでは。各農家で地理的な関係により温度差はあるが、立て看板だけではなくツアーガイドや一般観光客へ刺さるような啓蒙・啓発活動を行い「入ってはいけない」事を強く認識させるべき。

答 町長

既存の法律規定があり罰則規定の制定はできないが観光業者への指導は関連団体を通じて、一般観光客へは店舗や駐車場等で周知・啓発をする。

答 町長

問 和束茶力フエ裏大駐車場の敷地内にトイレを設置するべき。利便性向上も交流人口増加の要素となる。トンネル開通により駐車場利用者が増えているがトイレがグリンティ和束内の1箇所で不便。ツアーオ出发時間に影響する場合もあるため駐車場内にもトイレを作るべきでは。

問 体験交流センター入り口の上り坂、下の道路

問 受給者が数十人数百人いらない本町では経済効果や税収増は見込めない。子育て世帯からも不満の声がある。次年度から工夫したい。

答 町長

問 和束町健康福祉交流センターの今後の運用について使われていないスペースをどう使うのか。設計の段階で有効活用の案は出なかつたのか。設計段階でchainovaの使われていらない広い空間をどう使うのか、主にどういう方が交流する場なのか、目的を十分検討したのか。

答 町長

本年3月に前地域力推進課が中和束、西和束の区長様に口頭で承諾を得たが様として残つておらず、6月に改めて今年度の両地区区長様に移住特区制度の説明をし書面での同意をお願いした。区役員、区民の意見を聞き合意形成を図るよう検討をいただいている。同意をいただけるよう進め

る事があるが大きな問題の発生はなく、新たなトイレ設置は利用者動向等、施設管理者と協議し推移を見て設置場所も含め検討する。

補修を早急にするべき。長年に渡り不便や不都合が生じている。

答 町長



と活用の仕方を広げていく。是非多くの住民が多目的に集えるような交流センターになつていく事を希望する。

問 移住促進のなかで空家活用移住促進事業補助金について、和束町は全域補助額180万円該当地域であるにも関わらず、湯船と東和束地域のみが180万円、その他地域が90万円である。前期3月末には全区域の区長と話ができる今年7月頃には手続きが完了すると言う話であったがその後どうなつてているのか。

答 町長

問 和束町健康福祉交流センターの今後の運用について使われていないスペースをどう使うのか。設計の段階で有効活用の案は出なかつたのか。設計段階でchainovaの使われていらない広い空間をどう使うのか、主にどういう方が交流する場なのか、目的を十分検討したのか。

答 町長

本年3月に前地域力推進課が中和束、西和束の区長様に口頭で承諾を得たが



用地買収時や空き家対策において相続登記が放置され て事業が進まない事案があるが

むね たけし
宗 健司 議員

れて事業が進まない事案があるが

町長

ハード事業最大の関門は相続事務。 当時者に寄り添った事務を進める

問 用地買収時、空き家対策において相続登記が放置されている為に事業が進まない事案があると聞くが、この様な事案に対しても行政支援は出来ないのか。

答 町長

行政事務において一定の手続きを踏めば相続人の確

指定福祉避難所など町内14か所を避難所に指定している。避難経路などについても、詳細の設定はされていないが、現在和束町では今年度において国のモデル事業として京都府、本町総務課と保健福祉課が共同して個別の避難計画の作成に取り組んでいる。この計画は要配慮者や避難順路について個別に策定するもので、今年度内の完成を目指していいる。

湯船地区は和束町
中心部へ避難するとなると
主要地方道路府道木津信楽
線1経路しかない地域だが
この様な地域、集落に対し
ての対応についてどの様な
考え方を持つてゐるのか、併せ
て災害時における避難につ
いて介助者を必要とする方
への支援の対応、計画はど
の様に考え、計画している
のか。

今後どうして行くかについて
は、安全対策を出来る
限り強化していくいただき、連
携した事業として和束町の
活性化につながる事であれ
ば検討したい。また、危険
であつて、これが無駄であ
れば、今後受け入れない方
向で検討していきたい。

答	湯船地区は和束町 中心部へ避難するとなると 主要地方道路府道木津信楽 線1経路しかない地域だが この様な地域、集落に対し ての対応についてどの様な 考え方を持つてゐるのか、併せ て災害時における避難につ いて介助者を必要とする方 への支援の対応、計画はど の様に考え、計画している のか。
町長	上部団体、町内外の団体 が主催、または共催・後援 するイベントの開催趣旨、 関係法令の遵守などを精査 して後援依頼を受けている、

次の質問についてでは具体的な事例を挙げたいと思いま
す。

問 今年の7月20日に和束町を中心に開催されたカーラリーですが、競技途中に車両火災が発生したが、大事故には至らなかつたものの、消火器7本を使用して消防車も出動する事態になつた。今回の事態についての対応、今後どの様に進めていくのか。

答 町長

町道整備について
問 町道整備には大きく3種類の方法により実施されているが、この3種類の事業はどの様な考え方の下実施されているのか、また町道整備事業に対する優先

定は出来るので法令の範囲
内での支援は可能だが、あ
くまでも用地買収対象地で
あって、他の個人の財産に
ついては難しく、可能な限
り当事者に寄り添った事務
を進めたい。

和束町が後援・共催するイベントの考え方について
問 和束町において各種団体が行うイベントがあるが、各種団体が行うイベントの中には和束町が後援や共催する時、どの様な考え方の下、後援、共催しているのか。

早期な対応を取れるようにする。それと介助者の支援ですが、今作っている個別避難計画に基づいて個人ごとにどの段階で、どこへ避難させるか計画している。

問 町道整備について

和束町が後援・共催する イベントの考え方について

後期基本計画の策定にあたり、子ども議会や女性議会を開催し若い世代の意見を聞く機会を？

たかやま とよひこ
高山 豊彦 議員



議会のご理解がいただければ早い時期に行いたい。

町長

答 町長
議長や議員各位のご理解がいただければ、できるだけ早い時期に行いたい。

問 次期計画策定にあたっては小中高生や保護者の方の意見を計画に落し込むことが大事、子ども議会や女性議会などで議論し、意見を聞く機会を。

答 町長
茶産業を維持するための考え方と、現在の具体的な取り組みは。

問 第5次総合計画の進捗状況と課題を問う。
答 町長
施策の進捗状況はおおむね目標を達成しているが、現状値から目標値までの改善度では全30指標の内12指標で施策には取り組んでいるが十分な改善が見られない状況であり、人口の社会増減数や出生数等、町の取り組みだけでは好転が難しいものなどは、今後見直していくべき課題である。

また、中学生や16歳以上を対象としたアンケート調査では、保健・医療体制や子育て支援等の福祉政策は満足度が高いが、公共交通の充実や道路網・公園等インフラについては不十分との回答が多くあった。

答 町長
主要地方道木津信楽線の石寺から信楽間の歩道整備の現状は。

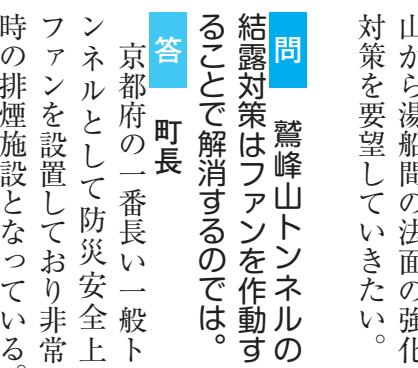
問 茶産業を維持するため農家の方や事業者とのマッチングが必要では。



問 茶産業を維持するための考え方と、現在の具体的な取り組みは。
答 理事兼建設農政課長
後継者等の対策に農業次世代人材投資資金や農業者経営継承発展等支援事業などに取り組んでいる。

答 町長
仁丹橋から瓶原大橋までの歩道設置の現状は。

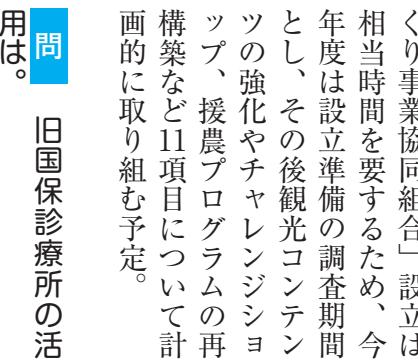
問 茶産業を維持するため農家の方や事業者とのマッチングが必要では。



問 仁丹橋から瓶原大橋までの歩道設置の現状は。
答 町長
計画は残っているが、150ミリ以上の雨量の際、白栖橋交差点から国道16号線の間が通行止めになるためその道路改良と、原山から湯船間の法面の強化対策を要望していきたい。

答 町長
来年度以降の事業の中で箇所決定等を設け、説明で

問 行政のペーパーレスによるコスト削減や省力化を図るために、議会のデジタル化を進める考えは。



問 オープンエアミニュージアム構想の実施計画と現在の取り組み状況は。
答 町長
まちづくり応援課長
生産並びに事業実施の推進母体である「特定地域づくり事業協同組合」設立は相当時間を要するため、今年度は設立準備の調査期間とし、その後観光コンテンツの強化やチャレンジショップ、援農プログラムの再構築など11項目について計画的に取り組む予定。

おかもと しょうい
岡本 正意 議員

災害級の酷暑！小中学校体育館への 空調整備を急いで具体化を

町長

計画的にどのように整備するか
検討していきたい



問 和小は34・5°Cにもなり、放置できないのでは。
答 財源をどう捻出するか検討していきたい。

問 文科省の示す財源を具体的に検討すれば設置の見通しがあるのでは。
答 町長 なかなか難しい。

問 和中体育館は40°C、和小は34・5°Cにもなり、放置できないのでは。
答 町長 財源をどう捻出するか検討していきたい。

問 鳥獣被害の現状と対策は
答 対策は。シカ被害の現状と

問 物価高騰対策・・9月議会での具体化は
答 体化は。

問 小型捕獲檻の貸出し、回収手続きの改善を。
答 理事兼建設農政課長 何らかの方法の検討は必要と考える。

問 茶園が枯れる、水田の水不足で地割れ等を確認。JAや農業試験場等での暑さに強い品種の改良、スプリンクラー等の開発の情報提供に努める。

問 クマの生態、行動パターン等の専門知識の情報提供を。
答 理事兼建設農政課長 民への提供を計画している。

問 小中学校体育館への空調整備の具体化は。
答 町長 を進めているが、体育館への設置計画はない。

問 海洋センターアリーナ、トレーニングルームへの整備は。
答 町長 小中学校の次になる。

問 検討していくと答弁している。

問 クマの出没状況と今後の対策は。
答 町長 5~8月で3件の目撃情報。トロールを実施。

問 水道料金、汲み取り料金の負担軽減を排除せず検討、実施を。

問 商工会のプレミアム商品券を活用してほしい。

問 加齢性難聴者への補聴器購入補助の実施を。
答 町長 現行制度では障害者手帳の取得が要件。

問 高齢者の「聴こえ」への支援強化を。
答 町長 遠隣も含め動きがあれば検討に加えたい。

問 特定健診の項目に聽力検査の追加を。
答 保健福祉課長 検討課題にしていく。

産業常任委員会

茶源郷乗合交通生活お助け事業ワグナ工
では、8月1日から宇治原町への運行開始

高山
山本・宗
村山・岡田

令和7年8月28日、令和7年度の事業執行状況について事務調査を行った。午後からは、町道中溝学校線の3工区の現地視察を行った。

建設農政課

- ・町道中溝学校線改良事業では、3工区の工事請負契約について。
- ・町営住宅管理事業費では、第6中山団屋根地改修工事の契約について。
- ・石寺橋整備事業では、測量設計業務委託についての報告があった。

環境衛生課

- ・簡易水道事業会計負担事業や、特定環境保全公共下水道事業会計負担事業、塵芥処理諸経費等の報告があつた。
- ・茶源郷乗合交通生活お助け事業では、令和7年度現在の利用者数は7月末現在の利用者数は

691人、登録者数は7月末現在420人となつた。また、8月1日から宇治原町への運行を開始。



町道中溝学校線3工区現地視察

各委員からの意見や質問

京阪バスが入つてくる

のか。

答 9月6日から土日、茶源郷まつりまで。

問 ワグナー宇治原便、

1日何便か。利用状況は。

答 朝、1便、夕方2便往復。現在利用者はない。

問 今後の見込みは。

答 高校生世帯対象に広報。

通学される方に回数券で2/3補助、定期代も宇治

田原→近鉄新田辺、JR、京阪宇治、の定期についても2/3補助。

答 祝橋整備事業、保証金117万8000円とは。

電柱の移設に伴う関西電力への補償金。

京都地方税機構議会

8月定例会

8月29日午後2時

・議長に府議会選出の中村正孝議員が選出。

・一般質問は2名。

・令和6年度一般会計歳入歳出決算は賛成多数で可決。

令和6年度決算額

歳入総額	26億4483万9000円
歳出総額	26億4258万1000円

京都府後期高齢者医療広域連合議会
令和7年第2回定例会 8月7日午後1時30分より

副広域連合長に吉田良比呂氏（京都市副市長）を選任

一般質問は2名

・後期高齢者医療広域連合議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、全員賛成で承認。

・後期高齢者医療広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、全員賛成で可決。

・令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、全員賛成で可決。

・令和6年度一般会計歳入歳出決算・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算は、賛成者多数で認定。

・令和6年度一般会計決算は、賛成者多数で認定。

令和6年度特別会計決算
歳入決算額 18億3425万7403円
歳出決算額 17億8396万6209円

令和6年度特別会計決算
歳入決算額 4317億8442万9583円
歳出決算額 4237億1812万6617円

・「京都府後期高齢者医療制度の改善を求める請願書」「国に今までの後期高齢者医療被保険者証の交付を求める意見書を提出すること、当面資格確認書の全員交付を継続することを求める請願書」は、賛成者少数で不採択。

いいとこ 和束 私の推し⑥

様々な方に、和束の「いいとこ」を語っていただくシリーズ「いいとこ和束 私の推し」。

今回は、長福寺と円福寺の住職をされている大野妙瑞さんです。



Q どのようなお仕事、活動をされていますか？

主には撰原区の長福寺と下島の円福寺の兼務の住職をしています。

活動は、地域防犯連絡委員を29年間、ふれあいサロンぬくもり会を26年間しています。保護司を15年間していました。

Q 住職になられたきっかけは？

父が亡くなったのがきっかけとなり、跡継をついで、現在まで。平成9年1月1日から、28年と9ヶ月続けさせて頂いています。

Q これまで主にどういった事をされてきましたか？

昭和37年4月から東大阪の幼稚園で勤務し昭和45年9月から、和束保育園に33年間勤めていました。子どもたちとの思い出は、今でも忘れる事なく、大きくなつても、「大野先生」と声をかけてもらえるのが嬉しいです。教え子が立派になっている姿を見ると、涙が出るほど嬉しいです。



撰原の茶畠

「私の推し」は 和束の素晴らしい景観

Q 大野先生の和束町の推しは？

とにかくお茶が素晴らしい。茶園の美しさ。撰原の山の中から見る茶畠はお茶刈りの時はお茶袋が五線譜のように見えて楽しい♪トンネルも出来たのでこれから先が楽しみです。茶葉に勤しんでくれる若者がもっといて欲しいし、希望を捨てずに和束を盛り上げて行って欲しいです。

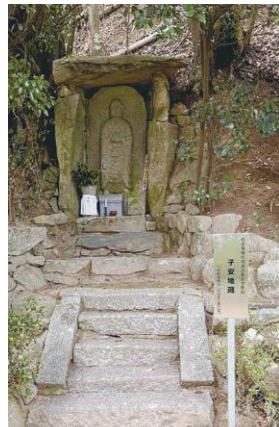
2つ目は相楽東部連合指定文化財にもなっている撰原にある「子安地蔵」。安産・子育ての守り神として信仰されて、皆を守ってくださっています。

Q 1番伝えたい事は？

和顔愛語…人に接するときの笑顔と、優しい言葉、感謝の気持ちを忘れない。

令和8年秋、皆様のおかげを持ちまして新本堂が落成致します。今はそれが一番の楽しみです。

(取材：宗 健司)



子安地蔵

秋も深まり、和束の日々は田んぼに彩りを増し、茶畠や田畠も実りの季節を迎えてあります。自然と共に暮らす喜びをあらためて感じられる頃となりました。

本町の議会だよりでは、町の現状や議会での議論をお届けましたが、紙面を通じて議会を少しでも身近に感じていただければ幸いです。

私たち議会は、町民の皆さまの声を大切に受け止め、暮らしに役立つ施策やまわりづくりに反映させることを使命とつておつまむ。和束のこころ豊かな自然と文化を守つながり、次の世代へつなげるために誠実な議論を重ねてまいります。

これからも、開かれた議会を分かりやすく情報発信するよつ努めてまいります。どうぞ引き続きご理解とご協力を賜りまよつね願い申し上げます。

(岡田 勇)

委員長	副委員長	委員員長	委員員長	委員員長
岡吉村宗井	田田山	上哲	健	武津男
田	山	哲	一	勇
勇	也	也	也	司

広報編集委員会

第4回定例会は、12月中旬開催予定。